

# 2023（令和5）年度 事業状況報告

2022（令和4）年度までに実施していた3ヵ年中期経営計画の基本方針を引き継ぎつつ、新たに「大阪の「生物多様性保全」への貢献」と「持続的な事業展開に向けた取り組みの拡大」を加えて策定した、「中期経営計画 令和5（2023）～7（2025）年度」に基づき、今年度は以下のように事業に取り組んだ。

## 1 自然環境保全活動等事業（公1事業）

〔	予算	収入 27,718 千円、支出 33,184 千円	〕
	決算	収入 28,402 千円、支出 32,826 千円	

新たな3ヵ年中期経営計画では、「大阪の「生物多様性保全」への貢献」と「持続的な事業展開に向けた取り組みの拡大」を基本方針として掲げており、前中期経営計画期間に整えた経営環境・業務管理体制を維持・発展させながら、当協会の存在価値を高めることを意識した事業展開を行った。

「和泉葛城山ブナ林」、「三草山ゼフィルス森」、「地黄湿地」の三保全地については、学識経験者や行政等で構成される委員会にて、保全の方向性や内容を決定しそれに基づいて活動を行った。

今年度も企業数社の環境保全活動へのかかわり方の相談に対応し、協会の取組の紹介や現地視察の同行、活動内容の提案などを行った。問い合わせがあった企業には今年度以降も継続して対応していく。

また、大阪府や府内の市町村及び（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所などと連携し、大阪の生物多様性保全への貢献に取り組んだ。

### （1）和泉葛城山ブナ林保全事業（岸和田市・貝塚市）

和泉葛城山ブナ林では、大径木の枯死が進み、稚樹が極端に少ないうえに近年の種子生産状況も思わしくないなど、長期的に見た場合ブナ林としての存続が危ぶまれる状況にある。一方で、バッファゾーン（国天然記念物区域外の周辺緩衝樹林帯）に植栽したブナが順調に育っている。

2023年度は、「和泉葛城山ブナ林10ヵ年計画」（2020年度策定）に基づき、コアゾーン、バッファゾーンで各種調査を実施するとともに、国の天然記念物指定から100周年を迎え、シンポジウム、ハイキング、記念植樹などを開催し、ブナ林を紹介するリーフレットを作成した。

#### 1）計画検討・調査等

- ①コアゾーンにおける調査（ブナ愛樹クラブ、大阪府立環境農林水産総合研究所等）
  - ・天然下種更新モニタリング（4月18日、27日、5月11日、25日、6月25日、その他、他の調査に合わせて実施）

- ・花芽・結実調査（5月11日、6月25日、7月18日、8月6日他）
- ・種子調査（種子トラップ設置：4月13日（今年度から常設）、落下物回収は、5月31日、8月31日、11月27日、2月26日の4回）

②コアゾーン及びバッファゾーンで実施した調査・保管理（大阪府立環境農林水産総合研究所等）

- ・生育環境調査（データ回収：5月31日、8月31日、11月27日、2月26日）
- ・哺乳類モニタリング（生育環境調査と併行してデータ回収）
- ・ナラ枯れ対応 枯死木成虫脱出防止シート巻き（5月～11月）

③バッファゾーン等における調査及び保護・増殖活動（ブナ愛樹クラブ等）

- ・記念植樹（12月18日）
- ・ブナ若木の育成、森林保全整備
- ・植栽ブナ、天然ブナ全数調査に向けた準備
- ・ドローン活用調査

④保護増殖検討委員会とワーキンググループ会議

- ・保護増殖検討委員会（4月19日（岸和田市））
- ・ワーキンググループ会議（12月18日、3月8日（オンライン））



記念植樹会 12/18



ナラ枯れ対応



ブナの植栽木調査

2) 保全活動等（保全活動参加目標人数 610人 実績 618人）

①森林保全ボランティア活動の支援

- 支 援 先 : 和泉葛城山ブナ愛樹クラブ  
 回数・参加者数 : 42回 369人参加  
 内 容 : 下草刈り、倒木処理、作業道の回復、普及イベント等

②巡回活動（地元へ委託）

- 回数・参加者数 : 36回 36人参加

③各種調査

- 回数・参加者数 : 22回 213人参加

3) PR活動等

①シンポジウムの開催

「国天然記念物指定 100 周年記念シンジウム～和泉葛城山ブナ林 これまでの 100 年 これからの 100 年～」を開催した。(8 月 26 日) 来場者数 92 人。YouTube で配信中。



会場の様子



パネルディスカッション

## ②リーフレット作成

ブナ及びブナ林の解説、保護増殖活動のあゆみ、登山マップ等を記載したリーフレットを作成した。8 月に 2,000 部を印刷し、イベント(8 月のシンポジウム、11 月の大阪自然史フェスティバル等)、貝塚市立自然遊学館、行政関係等に配布した。追加 2,000 部増刷。



リーフレット

## ③ハイキングの開催

前年度のハイキングが雨天中止となったため、国天然記念物指定 100 周年記念もあわせて、市民を対象としたハイキングを開催した。(10 月 21 日) 参加者 49 人

## ④広報等

- ・11 月 19、20 日大阪市立自然史博物館で開催された「大阪自然史フェスティバル」において、パネル展示やリーフレットの配布を行った。
- ・3 月 17 日きしわだ里山まつりにて、ブナ林を紹介するパネル展示、リーフレット配布を行った。

## (2) 三草山ゼフィルスの森 (能勢町)

大阪府緑地環境保全地域に指定されている三草山ゼフィルスの森(14.5ha)には、日本に生息するミドリシジミチョウ類(学名ゼフィルス「森の宝石」とも言われる)25 種の内 10 種が生息し、中でもヒロオビミドリシジミは日本の分布の東限域にあり、府内では唯一の生息地となっている。

2023 年度は、地元の保全活動団体や企業・学校・大学など様々な者が主体的・計画的に保全活動を進められるよう、「三草山ゼフィルスの森保全検討会議」を開催し、2023 年度を初年度とする「三草山ゼフィルスの森中期 3 ヶ年保全計画」を策定した。また、従来から保全活動を行っているボランティア団体が実施する保全活動への支援、進捗管理、府民に向けた PR 活動を行った。

## 1) 計画検討・調査等

### ①三草山ゼフィルスの森保全検討会議の実施

検討会議 3回開催 (4月25日、8月31日、10月13日)

### ②三草山ゼフィルスの森中期3ヵ年保全計画の策定

萌芽更新施業の継続や全域を防鹿柵で囲うことなどを盛り込んだ計画を策定した。

### ③森林の更新に伴うゼフィルス類への影響調査 (大阪公立大学、日本鱗翅学会等)

以下の調査を実施した。

- ・ゼフィルス類等チョウ類のモニタリング調査 (6月10日)

### ④ゼフィルスの森動物類調査 (大阪公立大学)

以下の調査を実施した。

- ・動物類調査 (6月10日・18日)

### ⑤森林環境の変化による植生や昆虫類への影響調査、山腹崩壊地の植生回復方法の検討 (大阪公立大学)

以下の調査を実施した。

- ・防鹿柵による林床植生の保護効果に関する調査 (8月23日・31日)
- ・ネザサ地掻きモニタリング調査 (10月26日)
- ・山腹崩壊地植生回復状況モニタリング (9月6日)



検討会議 8/31



ネザサ地掻き調査 10/26

## 2) 保全活動等 (保全活動参加目標人数 1,320人 実績 1,670人)

### ①ボランティア保全活動への支援

支援先 : 能勢みどりすとクラブ、能勢の里山を繋ぐ会

回数・参加者数 : 43回 377人参加

内容 : 坪刈り、ササ等下草刈り、進入路石畳づくり、ナラガシワの果実の採取、苗木の育成、防鹿柵の補修等

### ②更新作業の継続

防鹿柵のメンテナンスや萌芽した枝の芽かきなど、過去の更新地の手入れを行った。また、約0.25haの萌芽更新施業を行い、伐採木を能勢町が実施した木の駅プロジェクトへ出材するとともにシイタケの楢木に活用した。



### ③巡回活動（地元へ委託）

回数・参加者数 : 12回 23人参加



ナラガシワ果実採集 10/15



木の駅プロジェクトへ出材 2/4

### 3) PR活動等

#### ①普及啓発のための観察会・保全活動体験会

一般参加を募って実施し、その模様をSNSで発信した。(6月18日) 参加者37人

#### ②ハイキングの実施

11月に実施した。(11月23日) 参加者24人

#### ③他団体が三草山ゼフィルスの森を活用して行うイベントのサポート

(企業等によるCSR活動、メディア取材、ハイキングへの講師派遣など)

- ・大東建託株式会社

「いきもの観察および保全体験ツアーIn大阪・能勢」(6月17日)

- ・経団連自然保護協議会

視察受け入れ、3者(経団連、能勢町、トラスト協会)情報交換会実施(8月2日)

- ・エネクスフリース株式会社

新入社員研修(4月5日)

社会貢献活動「エネフリSmile」協力(11月19日、3月17日)

看板製作・設置協力(1月～3月)

- ・エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社

うめラボフライデーにおいて里山保全活動情報提供・体験会の実施。ボランティア活動受け入れ(2月2日、3月17日)



ゼフィルス観察会 6/18



経団連自然保護協議会視察・意見交換会 8/2

③地元との連携（保全活動拡大に向けた関係者（周辺住民、地元学校や企業等）への働きかけ）、勉強会の実施

「三草山ゼフィルスの森の将来を語る会」を浄るりシアター（能勢町）で実施。  
（3月24日）30名参加



会場の様子 3/24



三草山ゼフィルスの森を紹介するパネル等

**（3）地黄湿地（能勢町）**

地黄湿地は、2015年度から2017年度に行った保全再生事業により、陸地化が進んでいた部分に水が行きわたるとともに、日照等が多くなり、環境が改善された。サギソウやハッチョウトンボをはじめとする湿地の希少な動植物の生息環境を保全するため、湿地の陸地化が再び進まないよう取り組んだ。

今年度も引き続きハッチョウトンボが確認され、トキソウやサギソウといった湿地特有の植物の良好な生育が確認されるなど、過年度からの保全活動の効果がみられた。

**1）計画検討・調査等**

①地黄湿地再生保全検討会議の実施

1回実施（5月16日）

②植生調査（大阪公立大学等）

1回実施（9月5日）

③希少植物の開花数調査（地黄の森FANクラブ）

トキソウ開花数調査1回実施（5月27日）

④水生動物調査（大阪公立大学）

6回実施（4月19日、5月27日、6月24日、7月22日、8月31日、10月5日）  
プラ舟を用いたハッチョウトンボ調査を開始

⑤湿地のモニタリング、管理へのフィードバック

②～④の調査モニタリング結果を踏まえて、湿地部の維持・拡大のための保全活動を実施した。



検討会議 5/16



植生調査 9/5

## 2) 保全活動等（保全活動参加目標人数 340人 実績 377人）

### ① ボランティア保全活動への支援

支 援 先 : 地黄の森FANクラブ

回数・参加者数 : 15回 192人参加

内 容 : 湿地の環境改善、湿地内・沿岸林縁部の下草刈り、植物調査、湿地内の灌木・高茎草本刈り取り、ウシガエル・メダカなど外来種捕獲等

### ② 後背森林の整備（一部委託）

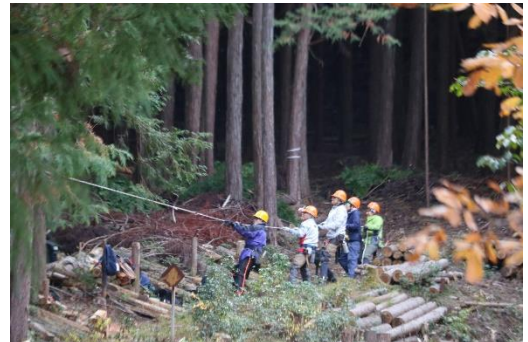
日本森林ボランティア協会への委託により実施した。

### ③ 巡回活動（地元へ委託）

回数・参加者数 : 25回 34人参加



トキソウ開花数調査 5/27



後背森林の整備 11/25

## 3) PR活動等

### ① 普及啓発のための観察会・保全活動体験会の開催

3回実施

- ・トキソウ・ハッコウトンボ観察会（6月24日）参加者29人
- ・サギソウ観察会（7月23日）参加者27人
- ・秋の植物観察会（10月19日）参加者30人

### ② 企業等によるCSR活動の受け入れ支援

依頼がなかったため、実施なし



### ③地元高校との連携による環境学習と保全活動への協力

大阪府立豊中高等学校能勢分校の2年生を対象に「地域と環境」の授業内で予定していた6回のうち4回実施（2回は雨天中止）した。10月19日の授業では、秋の観察会の講師を務めた。

### ④地元との連携・地黄湿地に関する勉強会の開催（地元・ボランティア対象）

### ⑤北摂地域で湿地保全活動を行っている団体との交流・連携

④⑤の取り組みとして、「北摂エリアの湿原保全活動団体情報交換会」を開催。  
（2月23日 池田商工会議所）57人参加



秋の植物観察会（講師能勢高生徒）10/19



情報交換会 2/23

## （4）自然環境保全地域支援事業（社寺林）

大阪府自然環境保全地域に指定されている5カ所の社寺林については、いずれも当該地の極相林に近い天然林として、土地所有者（社寺）と保全契約を結び、保全活動に対し助成を続けてきた。2023年度は現地訪問による聞き取りを行った。

自然環境保全地域	所在地	面積	保全対象	課題
ほんざん 本山寺	高槻市	14ha	高木とモミ、ツガ、カシ類の優れた天然林	鹿の食害 ナラ枯れ
おがみ 意賀美神社	岸和田市	1ha	コジイ、ナナメノキ、アラカシを構成種とするシイ林	古木の立枯れ
みくくるみたま 美具久留御魂神社	富田林市	2ha	コジイを優占種とする極相に近い広葉樹林	竹林の侵入 猪の侵入
わかやま 若山神社	島本町	11ha	コジイを優占種とする極相に近い広葉樹林	竹林の侵入 ナラ枯れ
みょうけんざん 妙見山	能勢町	10ha	アカマツ、アカガシ等の常緑広葉樹が混在するブナ林	シカの食害



## (5) 地域連携推進事業（新規）（参加者目標人数 180人 実績 223人）

生物多様性の保全に向けた地域・地元との連携（地域連携）のモデルを構築するため、三草山ゼフィルス森・地黄湿地がある能勢町において地域連携のあり方を模索し、府内の他地域での展開を視野に入れ、得られた知見や成果の情報発信を行った。

### ①生物多様性の保全に向けた取組み情報の集約・発信

- ・北摂エリアの湿原保全活動団体情報交換会を開催（再掲）57人参加
- ・能勢てっぺんフェスタに出展（10月1日）

### ②自然環境・生物多様性、能勢産材の魅力を伝えるファミリー・子ども向けイベントへの参画

- ・吹田市・豊中市・能勢町の小学生を対象にした能勢町における里山体験イベント「里山DAYキャンプ」の運営を担った。（9月9日）142人参加

### ③企業と活動フィールドのマッチング

大東建託株式会社による能勢町における生物多様性保全の取組み実施に向けて、地黄湿地を対象とすることを提案

### ④都市住民を対象としたイベントの開催など（三草山ハイキング等（再掲））

三草山ハイキングを実施（11月23日）。24人参加

## (6) 大阪里山ネットワーク事業

これまで当協会が立上げに関わってきた活動地に加え、大阪府内で希少な野生生物の生息地の保全や、里山保全を行っている団体の活動を支援した。

### ①登録団体

33団体（2024年3月末現在）

### ②少額助成事業

6団体から申請があり、8件の事業に対して合計347,000円の助成を行った。

### ③パネル展の実施

近畿中国森林管理局と連携し、登録団体の情報発信の一環としてパネル展示を行った。（7月6日～8月2日）



パネル展

### ④看板再整備

当協会がこれまでに各活動地に設置した看板のうち、老朽化したものの更新を行った。更新は各活動地が実施し、当協会はそれらを支援した。（4活動地計7枚）

### ⑤和泉葛城山ブナ林作業小屋補修

老朽化していた和泉葛城山ブナ林にある作業小屋の補修を行った。



更新した看板（島本の森）

## (7) 企業CSR等支援事業

自然環境保全に企業の協力を得るため、大阪府や実際に活動を指導する環境保全団体と連携し、大阪府のアドプトフォレスト制度を活用するなどして、積極的に企業CSR活動に携わった。

### ①新規の活動

企業の森づくりやCSR活動に関心のある複数の企業より、当協会の取り組みや提供可能なサポートへの問合せがあり、それらの相談に対してサポートを実施した。

- ・エイチ・ツー・オーリテイリング株式会社（三草山ゼフィルスの森）（再掲）：  
うめラボフライデーにおいて里山保全活動情報提供・体験会の実施、ボランティア活動受け入れ（2月2日、3月17日）
- ・株式会社平和堂（枚方市東部清掃工場）：アドプトフォレスト制度を利用した森づくり開始をサポート

### ②既存の活動

- ・NTTドコモ（堀河の森）：2回実施（9月16日、12月2日）
- ・立花エレテック（枚方市東部清掃工場）：1回実施（新入社員研修4月7日）
- ・エネクスフリース株式会社（三草山ゼフィルスの森）（再掲）：  
1回実施（新入社員研修4月5日）、社会貢献活動「エネフリSmile」サポート（11月19日、3月17日）
- ・大東建託株式会社（三草山ゼフィルスの森）（再掲）：  
「いきもの観察および保全体験ツアーIn大阪・能勢」（6月17日）

### ③パンフレットの作成

新規に活動を検討する企業が具体的な活動をイメージできるように、これまで当協会が関わってきたCSR活動サポートの実績をベースに、サポートメニューをとりまとめたパンフレットを500部作成し、配布した。データをホームページでも掲載し、新規案件獲得のためのツールとして活用した。



パンフレット

## (8) 大阪さともり地域協議会の運営

大阪さともり地域協議会は、2013(平成25)年度からスタートした林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の実施にあたって、大阪府域を対象として設置された地域協議会であり、当協会はその事務局として、活動組織への交付金の交付、活動に対する支援や指導等を行っている。2023年度も、事務局として適正で円滑な事業の推進に努めるとともに、活動組織の持続可能な活動推進に資する取り組みを行った。

- 交付金申請採択団体  
活動組織 26 組織  
交付金 13,263 千円
- 大阪さとり地域協議会  
総会（4月26日、Web開催）  
審査会1回（4月26日Web開催）
- 持続可能な活動推進に向けた取り組み
  - 活動組織へのアドバイザー派遣（6活動組織、10回）
  - チェーンソー安全講習会の開催（5月21日、18名参加）
  - 刈払機取扱安全講習会の開催（6月13日、10名参加）
  - 森林関係イベントでの広報活動（10月～11月、3回）
  - 里山保全セミナーの開催（12月8日、約60名参加）
  - 救急法応急手当安全講習会の開催（1月14日、13名参加）



チェーンソー講習会 5/21



里山保全セミナー 12/8



## 2 緑の募金事業（公2事業）

〔 予算 収入 17,200 千円、支出 18,457 千円 〕

〔 決算 収入 16,348 千円、支出 17,286 千円 〕

2020 年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金等の募金活動が縮小したが、2023 年はコロナによる影響は比較的小さくなり、募金活動の制限も小さくなってきた。しかし年間募金総額は、前年比 97%にとどまった。

募金の活用に関しては、SDG s 達成への貢献を目指し、緑の未来を担う子どもたちへの助成や森林環境教育・森林 E S D の推進等に関する事業に重点的に配分をし、以下の事業を執行した。

（収入および支出の詳細は巻末参考資料参照）

### 2-1 緑の募金運動推進事業

#### （1）募金資材の整備

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2023 年秋用および 2024 年春用の募金資材を整備した。（緑の羽根、緑化バッジ、P R チラシ、ポスター、募金箱）

緑化バッジは、大阪府立港南造形高等学校の協力を得てデザインされ、選考会を経て、最優秀賞の生徒デザイン画を採用した。



2023 年秋用  
ヒイラギ



2024 年春用  
カタクリ

（製作数）

2020 秋	2021 秋	2022 秋	2023 秋
—	カキ	キキョウ	ヒイラギ
0	3,170	4,000	4,500

2021 春	2022 春	2023 春	2024 春
キイチゴ	ケヤキ	スイセン	カタクリ
7,000	6,000	6,500	7,500

#### （2）募金活動の推進

##### ①募金の呼びかけ

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

##### ②募金キャンペーンの実施

- ＜キャンペーン期間＞
- ・春季 2023 年 3 月 1 日～5 月 31 日
  - ・秋季 2023 年 9 月 1 日～10 月 31 日

### ③募金拡大

今年度より、燃料供給や車の販売・整備などの事業を行っているエネクスフリート株式会社（大阪市淀川区）が行う、軽油販売に伴うポイントからの寄付が始まった。

2020年より、廃食用油回収 リサイクル及び販売などの事業を行っている植田油脂株式会社（大東市）が行う、リサイクルせっけんの購入に伴う寄付が継続している。

伊藤忠エネクスグループ  
E I N E F L O

企業情報

ガソリンスタンド

産業エネルギー

トラック/車買取販売

でんき

その他事業

ENEFLINE.NET

#### お客さま参加型の社会貢献活動を実施

車検および自動車の販売件数に応じた金額を寄付するチャリティプログラム「エネフリHeartful」を2022年から実施しています。また、トラック祭<sup>®</sup>のポイントを公益財団法人大阪みどりのトラスト協会を通じて「緑の募金」、公益財団法人交通選児等育成基金への寄付として使えるプログラムを実施しています。ご賛同いただいた運送会社さまやトラックドライバーさまからご提供いただいたポイントシールを換算し、そこにエネフリからの寄付金を上乗せし寄付します。

トラック祭第7弾（2020年6月1日から2021年5月31日まで実施）において、活動の趣旨にご賛同いただいた運送会社およびトラックドライバーさまから寄せられたポイントシール数に応じた金額を寄付しました。

エネフリでは子どもたちの持つ可能性が閉ざされてしまわないように、さまざまな取り組みを続けていきます。

※ 軽油給油25リットルにつきポイント（シール）をお渡しするキャンペーン。貯まったポイントに応じて賞品に交換していただけます。  
[https://www.enexfleet.com/gasoline/business/truck\\_matsuri/index.html](https://www.enexfleet.com/gasoline/business/truck_matsuri/index.html)

地球のきれいをお手伝い  
**UEDA**

廃食用油の回収をご希望の方はこちら ▶

**0800-888-5145**  
受付時間/平日 9:00~18:00  
他、入カフォームやLINEからのお問合せが可能です。

植田油脂株式会社 | お問い合わせ | サイ

会社案内	事業案内	環境活動	トピックス	アクセス	採用情報

2022年より大丸心齋橋店（大阪市中央区）が環境関連取組の一環として行う、緑の募金チャリティー企画が、今年度は5月と10月に開催された。10月は緑の募金のパネル展示も開設した。

キャッシュレス募金については、(公社)国土緑化推進機構が全国の緑の募金団体とともにPayPay及びauPayを利用した募金の開始に向けた取り組みを行っていたが、金融庁への手続きが進まないことが同機構より報告され、全国的に滞っている。当面の開始は難しい状況である。

家庭募金については、大阪府内で実施している市の担当部署への実施方法・状況の聞き取りを行い、未実施の市町村のうち、一市の担当部署への提案と情報提供を行った。

募金方法の多様化を進めるため、WEB から募金ができる「つながる募金」※1 や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、2020 年より開始した遺贈募金（JELF「みどりの遺言」プロジェクト）を継続している。

2020 年度より、音楽集団 ANKAA のコンサート会場における募金が継続しており、今年度は 8 月、10 月、1 月に行われ、募金の呼びかけを行った。1 月は会場において緑の募金の紹介パネルを展示した。



大丸心齋橋店でのパネル展



コンサート会場でのパネル展

※1 つながる募金：ソフトバンク契約者が携帯料金支払い時に募金もできる仕組みで、ソフトバンク契約者以外もインターネットから募金できる。

※2 お宝エイド：不用品を回収業者へ送ってもらい、買い取られた金額の一部が募金となる仕組み。

## 2-2 緑化推進・森林の整備事業

### (1) 緑化事業等交付金

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付した。

2023 年 2 月～2024 年 1 月振込分まで 305 件 3,252,456 円（参考：2022 年 2 月～2023 年 1 月振込分まで 304 件 3,059,976 円）



緑化事業等交付金による緑化活動

### (2) 堺第 7-3 区「共生の森づくり」の推進

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区において市民・NPO 等の府民参加で実施されている「第 19 回共生の森植樹祭」（3 月 2 日）に対し助成を行った。





「第19回共生の森植樹祭」

### (3) 生駒山系花屏風支援事業

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風支援事業」として、2008年から継続している植樹活動への助成に加え、今年度から生き物の保全・育成、自然観察会や野外体験学習活動、森林保全等のボランティアを養成する活動等、生駒山系花屏風構想の普及啓発に資する行事に対象を拡大し9団体に助成を行った。



ハイキングゴール地点での募金活動



里山体験活動（シイタケの植菌）

### (4) 緑の少年団活動支援事業

大阪府内の緑の少年団連盟事務局として、総会（7月5日）及び指導者情報交換会（1月13日）を実施した。今年度は4年ぶりの交流集会を大阪府少年自然の家（貝塚市）で開催（10月14日）し、72名が参加した。また、連盟所属の4団に対して活動助成を行った。



総会



交流集会



### (5) その他

#### ①国土緑化推進機構対応・中央交付金

近畿地区で輪番制となっている（公社）国土緑化推進機構理事として総会に出席した。

中央交付金は、2023年1月から12月の募金額をもとに573千円を支出した。

## ②緑化推進運営協議会の運営

緑の募金の適切な運用を図るため、有識者からなる緑化推進運営協議会を開催した。

- ・第 62 回緑化推進運営協議会：対面開催 5/23
- ・第 63 回緑化推進運営協議会：オンライン開催 2/28

## ③募金・緑化功労者の表彰

募金額による感謝状の贈呈はなかった。

「大阪府みどりの功労者」として当協会が推薦した「特定非営利活動法人島本森のクラブ」が表彰された。同表彰は、緑化の推進、自然環境の保全及び森林の保全に功績のあった個人または団体を表彰するもので、島本町において天然林の整備や放置竹林の整備などの活動と普及啓発への取り組みの功績が認められた。

「「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰」として当協会が推薦した「和泉葛城山ブナ愛樹クラブ」が表彰された。同表彰は、自然環境の保全に関して顕著な功績があった個人または団体を表彰するもので、国の天然記念物に指定されているブナ林の保全活動を 23 年間にわたり継続し、森林整備、調査活動、ブナの育成への功績が認められた。

## 3 森林環境教育・森林 ESD の推進事業（公 1・公 2 共通事業）

### （1）みどりづくりの輪活動支援事業

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープの整備等に助成した。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成等の支援を行った。予算枠 4 件に対して 7 件の申請があり、審査の結果 4 件を採択した。

専門家相談費用助成については 4 件の申請があり、審査の結果 4 件を採択した。助成した専門家相談のうち 4 件が、当協会の助成事業へ申請し、実施された。

団体名	活動の概要	専門家相談
太子町立幼稚園	ビオトープ池の新設	実施
大阪教育大学附属平野小学校	ビオトープ池の再整備	実施
大阪市立茨田小学校	ビオトープ池の再整備	実施
豊中市立第十五中学校	ビオトープ池の再整備	実施



太子町立幼稚園



大阪教育大学附属平野小学校



大阪市立茨田小学校



豊中市立第十五中学校



## (2) 「学校に森林と木の香りを」整備事業

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対する助成を行った。

予算枠3件に対して3件の申請があり、審査の結果3件を採択した。

団体名	活動の概要
学校法人大谷学園大谷さやまこども園	園庭の伐採木を活用して園看板製作、植樹体験など
社会福法人石井記念愛染園 愛染園南港東保育園	大阪産材で棚製作、端材を活用した焼き芋
富田林市立向陽台小学校	木材市場等見学、木工体験、出前授業、植樹など



大谷さやまこども園



愛染園南港東保育園



富田林市立向陽台小学校

## (3) 平和の緑づくり事業

大阪府内の平和堂店舗の有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を活用し、学校や幼稚園、保育園などで身近な緑づくり（植樹と「緑の教室」の開催）を推進した。

4件の応募があり、抽選により3件を採択した。

実施園名	所在地	実施日	植樹・本数	参加者数
社会福祉法人晋栄福祉会 あまだのみやちどりこども園	交野市	10月26日	キンモクセイ1本 オリーブ1本	57名
社会福祉法人まりも会 まりも保育園	枚方市	11月30日	クヌギ1本 キンモクセイ1本 アジサイ4本	37名
学校法人西村学園 ひまわり幼稚園	大阪市	3月4日	サクラ1本	78名



植樹



緑の教室



#### (4) 森林環境教育・ESD 推進

大阪府立中央図書館（東大阪市）にて、4/19～ 5/9 の期間中、令和 5 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの大阪での入賞作品の展示とともに、「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや、木の利用を進めるための活動支援紹介」パネル展示を行った。また、近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）にて7/6～8/2の期間中、同様の展示を行った。



大阪府立中央図書館（東大阪市）



近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）

#### (5) 教育大学学生向け講習の企画・運営

大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、「図画工作」授業の時間を活用し、1 回生の学生約 160 名を対象に「どこでもできる森林 E S D 体験講座」を実施した。また、大阪府森林組合南河内支店が南河内地域における水平展開を目的に、河南町立かなん桜小学校で実施した「森林 E S D 体験授業」を支援した。



「どこでもできる森林 E S D 体験講座」

### 4 普及啓発事業（公 1 ・ 公 2 共通事業）

#### (1) 会報誌の発行・メールマガジンの発行

会報誌「ANNUALREPORT2022（みどりのトラスト）」を発行した（7月）。

メールマガジンは、月に 1 回、約 550 の団体や個人に定期配信し、最新の話題提供とホームページへの誘導を促した。

## (2) ホームページ・SNSの運営

ホームページは、SNS・メールマガジンと連動し、広く活用内容が伝わるよう発信した。自然環境保全活動等事業のイベント告知や、活動のブログ、Instagramで保全活動の様子や季節の動植物の写真をアップした。緑の募金事業は、キャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせした。また、募金がどのように活用されているか、実施事業の様子や実施後の担当者の声などを掲載した。



Instagram

## (3) 普及啓発イベントへの参加

「水都おおさか森林（もり）の市（10/23）」（大阪市北区）、「大阪自然史フェスティバル（11/19・20）」（大阪市東住吉区）にて募金活動・パネル展示等のPRを行った。また、当協会が行うシンポジウム・観察会などのイベント時や、地域のイベント、企業の総会などへ参加し、緑の募金への協力を呼び掛けた。



水都おおさか森林の市



水都おおさか森林の市



大阪自然史フェスティバル

## (4) ポスターコンクールの実施

（公社）国土緑化推進機構が実施する「令和6年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、大阪府内からは、10校/62点（参加総数 183点 ※1校につき応募は10点まで）の応募があった。10/3の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、中央審査会にて右記の1名が入賞した。大阪みどりのトラスト協会賞13名。



【小学校の部】入選  
国土緑化推進機構理事長賞  
箕面市立西南小学校  
4年 西尾 健成 さん  
「見て！！僕の宝物」

## 5 事業その他

### (1) トラストファンド実績

和泉葛城山ブナ林のコアゾーン（8ha:国の天然記念物）とバッファゾーン（47ha:緩衝樹林帯）を一体的に保全するための「ブナの森トラストファンド」及び三草山（能勢町）に生息するミドリシジミ類の保全のための「ゼフィルスの森トラストファンド」の確保に努めた。

#### ①ブナの森トラストファンド

寄付件数及び寄付金額	10 件	156,000 円
令和 5 年度末累計	4,093 件	14,892,102 円

#### ②ゼフィルスの森トラストファンド

寄付件数及び寄付金額	11 件	74,473 円
令和 5 年度末累計	2,212 件	8,394,498 円

トラストファンド合計	21 件	230,473 円
令和 5 年度末累計	6,305 件	23,286,600 円
(参考) 令和 4 年度末累計	6,284 件	23,632,087 円

### (2) 大阪みどりのトラスト協会 会員数

新規会員登録者数	個人	2 名	法人	0 団体
令和 5 年度会員数	個人	209 名	法人	31 団体
(参考) 令和 4 年度会員数	個人	232 名	法人	31 団体



## 6 管理部門

### 1. 会議開催状況

2023（令和5）年度の理事会、評議員会の開催状況は以下のとおり。

#### (1) 理事会

6月6日（火）	決議の省略	第1号議案 「評議員候補者2名の評議員会への推薦の件」 第2号議案 「評議員会の決議の省略による方法により、 評議員2名の選任を求める件」
6月12日（月） WEB会議	第29回理事会	第1号議案 「2022（令和4）年度事業報告について」 第2号議案 「2022（令和4）年度決算について」 第3号議案 「第13回定時評議員会招集について」
3月12日（火） WEB会議	第30回理事会	第1号議案 「嘱託職員への2023年度臨時賞与の支給 について」 第2号議案 「2024（令和6）年度事業計画について」 第3号議案 「2024（令和6）年度収支予算について 資金調達及び設備投資の見込みについて」 第4号議案 「常勤役員の報酬額の決定について」

#### (2) 評議員会

6月19日（月）	決議の省略	第1号議案 「評議員2名の選任の件」
6月27日（火） WEB会議	第13回評議員会	報告事項 「2022（令和4）年度事業報告について」 第1号議案 「2022（令和4）年度決算について」

2023（令和5）年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

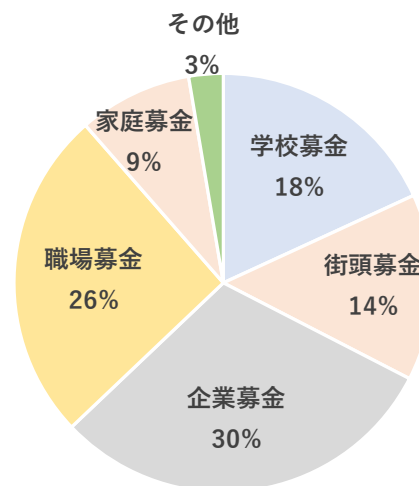
収入について

令和5（2023）年度の収入総額は、予算 17,200 千円に対し、16,348 千円となった。（助成金等収入 50 千円、雑収入 67 千円を含む）

内訳は次の表、グラフのとおりである。

令和5（2023）年度収入の内訳

種類別	金額（千円）
学校募金	2,945
街頭募金	2,340
企業募金	4,926
職場募金	4,162
家庭募金	1,426
その他	432
受取補助金	50
雑収入	67
合計※	16,348

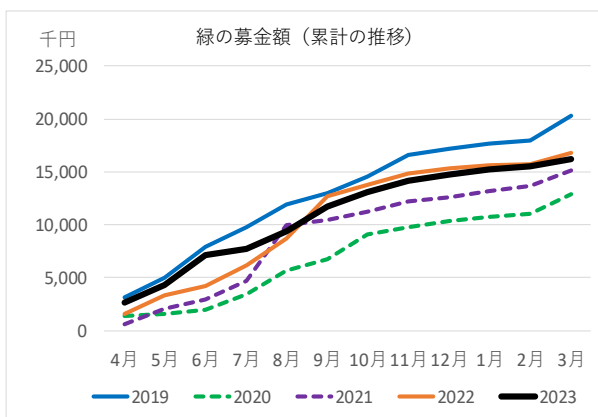
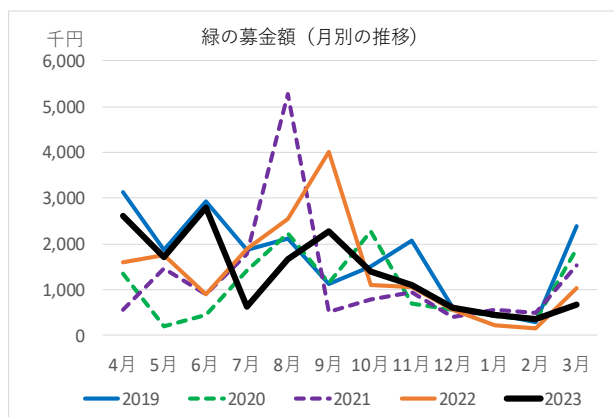


※ 円グラフは、割合が0%の科目は表示していない

1. 緑の募金実績(予算 17,200 千円、決算 16,231 千円)

2020 年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金等の募金活動が縮小したが、2023 年はコロナによる影響は比較的小さくなり、募金活動の制限も小さくなってきた。しかし年間募金総額は、前年比 97%にとどまった。

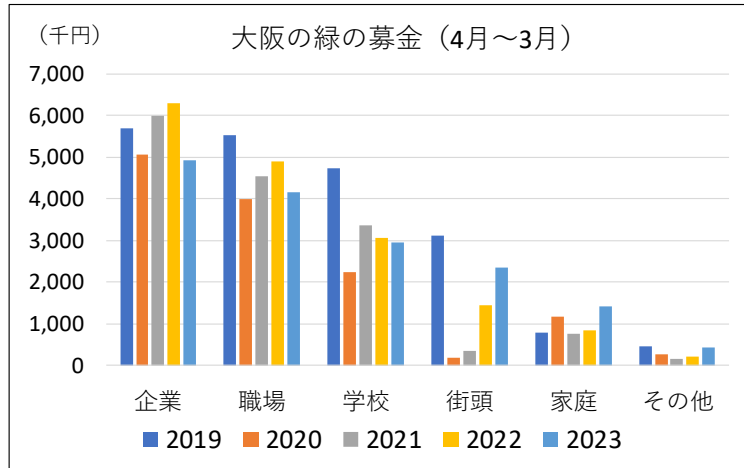
種別に見ると、企業募金は有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付の減少（原料・加工費の高騰による）を反映して減少した。職場募金は近年回復傾向を示していたが今年度は減少した。ただし、職場募金の内訳を精査した結果、一部を家庭募金に種別変更した影響も含まれている。学校募金は減少傾向が続いている。街頭募金はコロナ前の 2019 年と比べて 75%まで回復した。家庭募金は増加を示しているが、職場募金からの種別変更による。



令和5（2023）年度募金額の推移

表内数字の単位は千円

年度 種別	2019	2020	2021	2022	2023
企業	5,684	5,071	6,004	6,302	4,926
職場	5,530	4,007	4,528	4,895	4,162
学校	4,736	2,231	3,372	3,055	2,945
街頭	3,120	192	339	1,448	2,340
家庭	798	1,159	763	841	1,426
その他	448	254	168	221	432
合計	20,316	12,914	15,175	16,762	16,231



募金額の種別推移

## 2. 助成金等収入、雑収入、(予算 0 千円、決算 117 千円)

助成金等収入として、(公社)国土緑化推進機構の助成事業に伴う推薦資料作成の手数料収入があった。

雑収入として、緑化事業等交付金の返金があった。

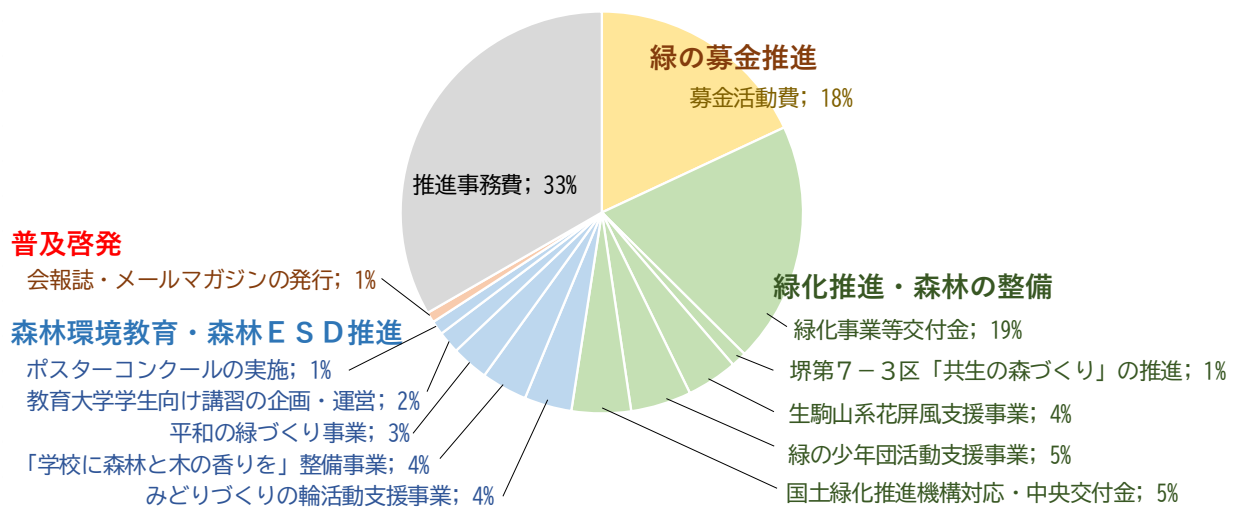


## 支出について

令和5（2023）年度の事業支出総額は17,286千円となった。その内訳は次の表、グラフのとおりである。

科 目		金額(千円)	割合(%)
緑の募金推進事業	募金活動費	3,056	18
	募金拡大	8	0
緑化推進・ 森林の整備事業	緑化事業等交付金	3,348	19
	堺第7-3区「共生の森づくり」推進費	210	1
	生駒山系花屏風支援事業	694	4
	緑の少年団活動支援事業	826	5
	緑化推進運営協議会の運営	15	0
	募金・緑化功労者の表彰	3	0
	国土緑化推進機構対応・中央交付金	807	5
森林環境教育・ 森林ESD推進事業	みどりづくりの輪活動支援事業	645	4
	「学校に森林と木の香りを」整備事業	626	4
	平和の緑づくり事業	504	3
	森林環境教育・ESD推進	49	0
	教育大学学生向け講習の企画・運営	303	2
	ポスターコンクールの実施	191	1
普及啓発事業	会報誌の発行・メールマガジンの発行	143	1
	ホームページ・SNSの運営	79	0
	普及啓発イベントへの参加	80	0
	その他	56	0
推進事務費	推進事務費	5,643	33
合計		17,286	100

※割合（％）は項目ごとに少数第1位を四捨五入している。



### 支出の内訳

※ 円グラフは、割合が0%の科目は表示していない